

OLの「コスメと美容」

女性たちは外出前のメイクに平均22.3分の時間をかけ、コスメの年間総購入額は平均82,238円。基礎化粧品の年間購入平均額は55,621円で、コスメ総額の67%が基礎化粧品に使われていると推定される。最もコスメにお金をかけているのは20代後半で、総購入額の平均は85,854円。コスメは、ドラッグストアで購入することが最も多いが、20代前半は「コンビニ」での購入も目立つなど、年代によって差がある。ポイントメイクではアイメイクに最も力を入れている。

エステサロンの経験者は64.8%で、1年以内に行った人は37.8%。1年以内に行った人の平均回数は8.4回。ネイルサロン経験者は34.3%でエステサロンに比べると半数程度。6割以上が未経験者で、まだまだネイルサロンの敷居は高いようだ。

キレイになるためにお金を払ったことがあるものは、美容食品(サプリ)、岩盤浴、ダイエット食品(サプリ)が上位であり、手軽に摂れるサプリメントの購入経験者は多い。また、最近施設が増えた岩盤浴が2位に入り、その人気ぶりも伺える。

調査目的 岡山のOLの意識や行動を把握する

調査方法 インターネット調査

調査期間 2006年10月18日～10月31日

調査対象者 岡山県在住の20歳～39歳の女性

回答者 344人

調査機関 岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール

【年齢】

カテゴリ	件数	%
21～24歳	23	6.7
25～29歳	142	41.3
30～34歳	127	36.9
35～39歳	40	11.6
不明	12	3.5
計	344	100

【未既婚】

カテゴリ	件数	%
未婚	248	72.1
既婚	84	24.4
不明	12	3.5
計	344	100

コスメの年間購入額

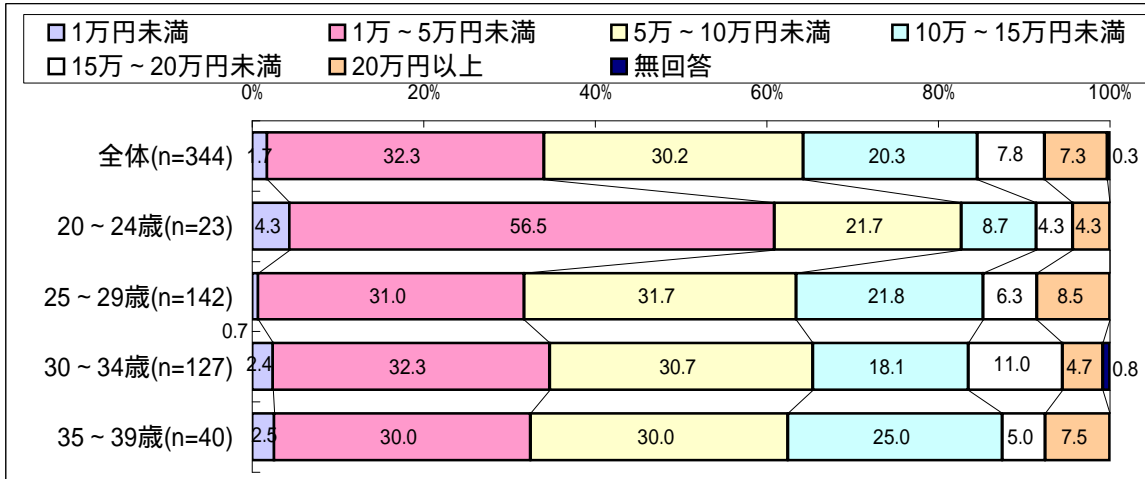
コスメの年間購入額は、82,238円。そのうち基礎化粧品が67%を占める。

コスメの年間購入額は、平均82,238円。20代前半の若い層が最も購入額が低く、平均は54,261円で「1万～5万円未満」が56.5%を占めた。最もお金をかけているのは20代後半で、平均額が唯一8万円を超え、20万円以上の購入者が8.5%。

化粧水や美容液など基礎化粧品の年間購入額平均は55,621円で、コスメ購入総額の67.6%と、基礎化粧品の比重が高い。平均値は20代前半が最も低く、「1万円未満」が21.7%を占めた。平均値の最高額は20代後半の57,000円だが、30代後半も56,581円と近い値を示した。7万円以上でみると、30代後半の割合が35.0%で最も高く、3人に1人は、基礎化粧品を年間7万円以上購入している。

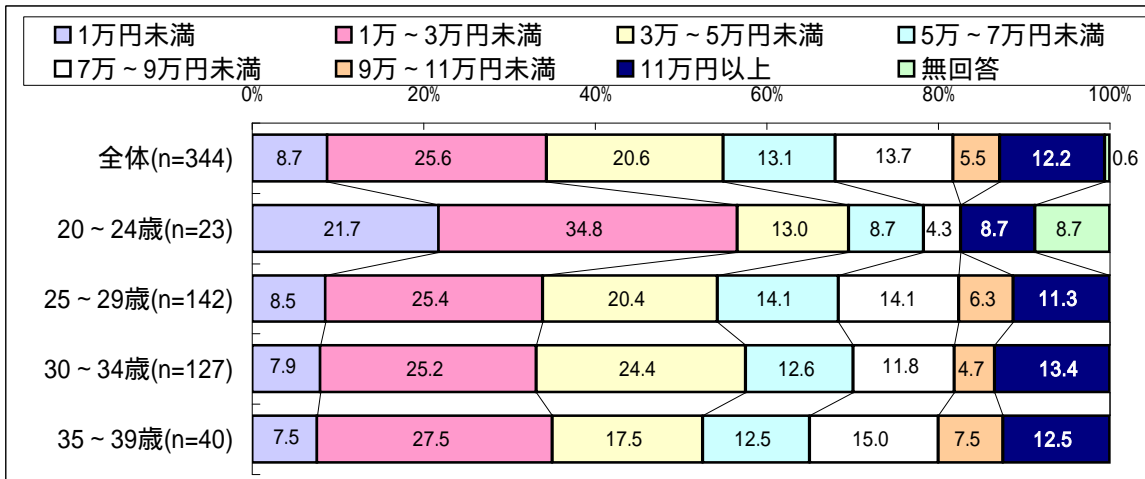
マスカラや口紅などのメイクアップ化粧品の年間購入額は26,363円。年代による差は小さく、最低平均値は20代前半の21,381円で、最高値は20代後半の28,352円。20代後半以上では、年代が高くなるほど購入額が減っており、30代後半では「1万

コスメの年間購入総額 (数量回答/全員)



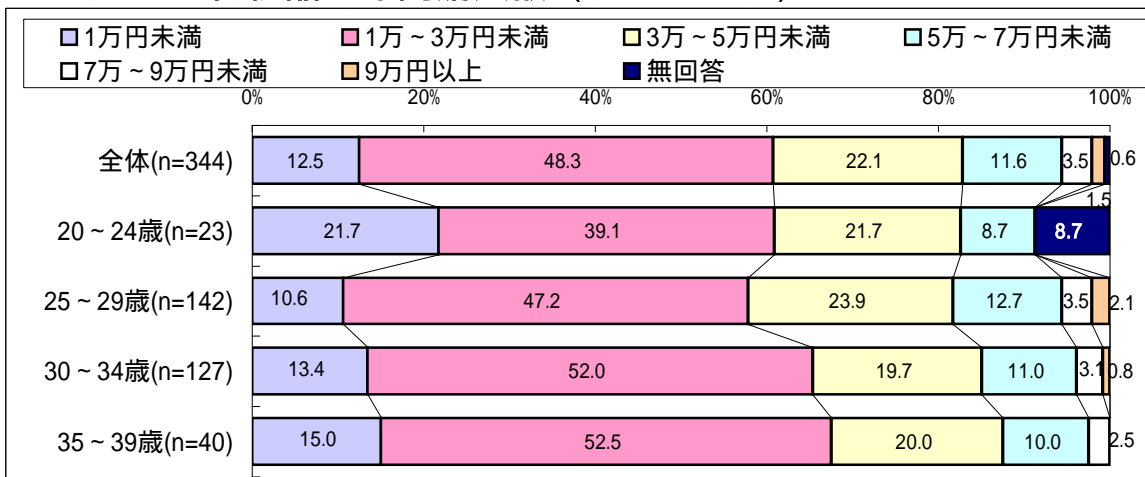
年代	平均額
全体	¥82,238
20代前半	¥54,261
20代後半	¥85,824
30代前半	¥78,159
30代後半	¥79,863

基礎化粧品の年間購入額 (数量回答/全員)



年代	平均額
全体	¥55,621
20代前半	¥34,810
20代後半	¥57,000
30代前半	¥52,984
30代後半	¥56,581

メイクアップ化粧品の年間購入額 (数量回答/全員)



年代	平均額
全体	¥26,363
20代前半	¥21,381
20代後半	¥28,352
30代前半	¥24,488
30代後半	¥22,531

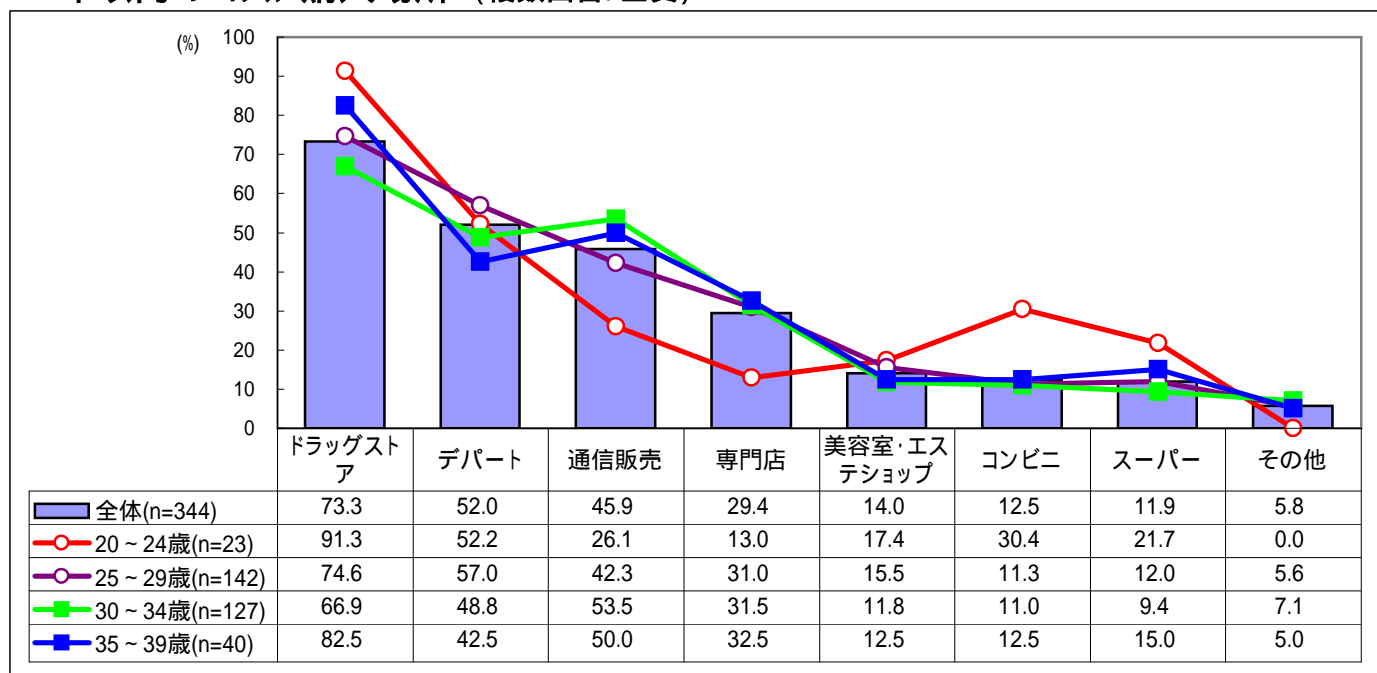
コスメ購入場所

もっともよく購入するのはドラッグストア。

1年以内にコスメを購入した場所で、最も回答率が高かったのは「ドラッグストア」(73.3%)である。以下、「デパート」(52.0%)、「通信販売」(45.9%)がベスト3。

化粧品にかかる費用が他の年代より少ない20代前半は、「ドラッグストア」(91.3%)、「コンビニ」(30.4%)、「スーパー」(21.7%)など、比較的安価な化粧品を売っている店での購入率が高い。30代は「デパート」よりも「通信販売」の値が高く、コスメに関しては、20代よりもデパートから足が遠のいているようだ。

1年以内のコスメ購入場所 (複数回答/全員)



メイク時間とポイント

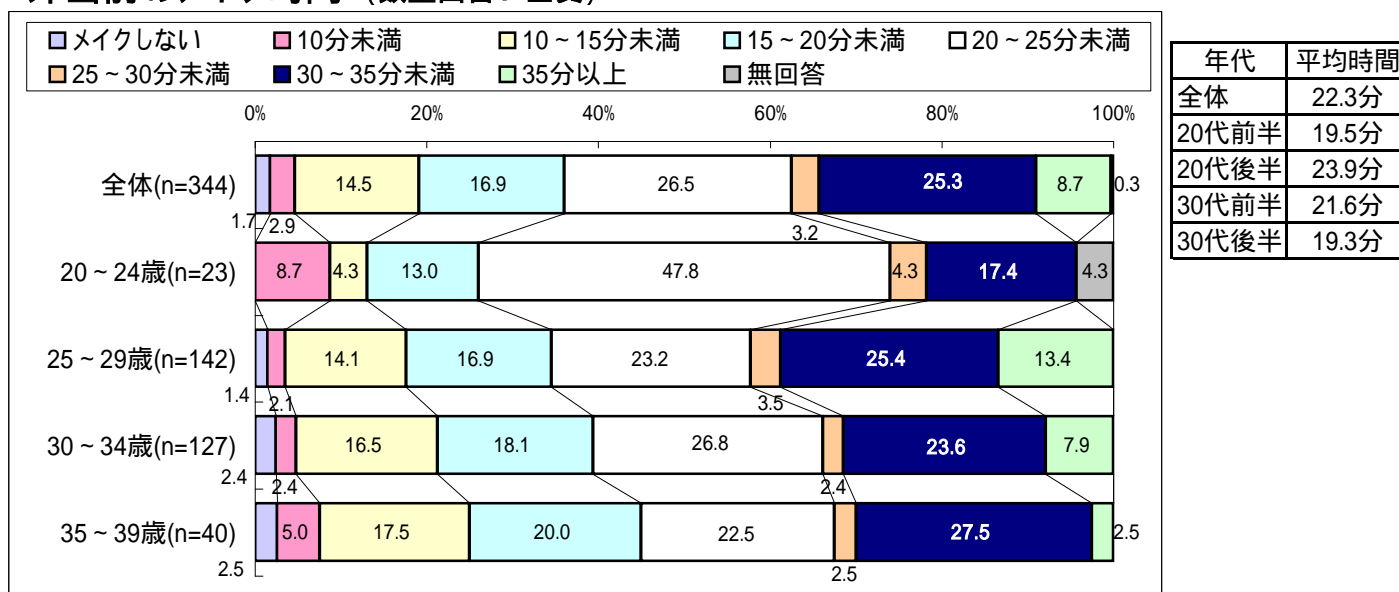
外出前のメイク時間は平均22.3分。

メイクのポイントは「目」で、特に20代はアイメイクに力を入れている。

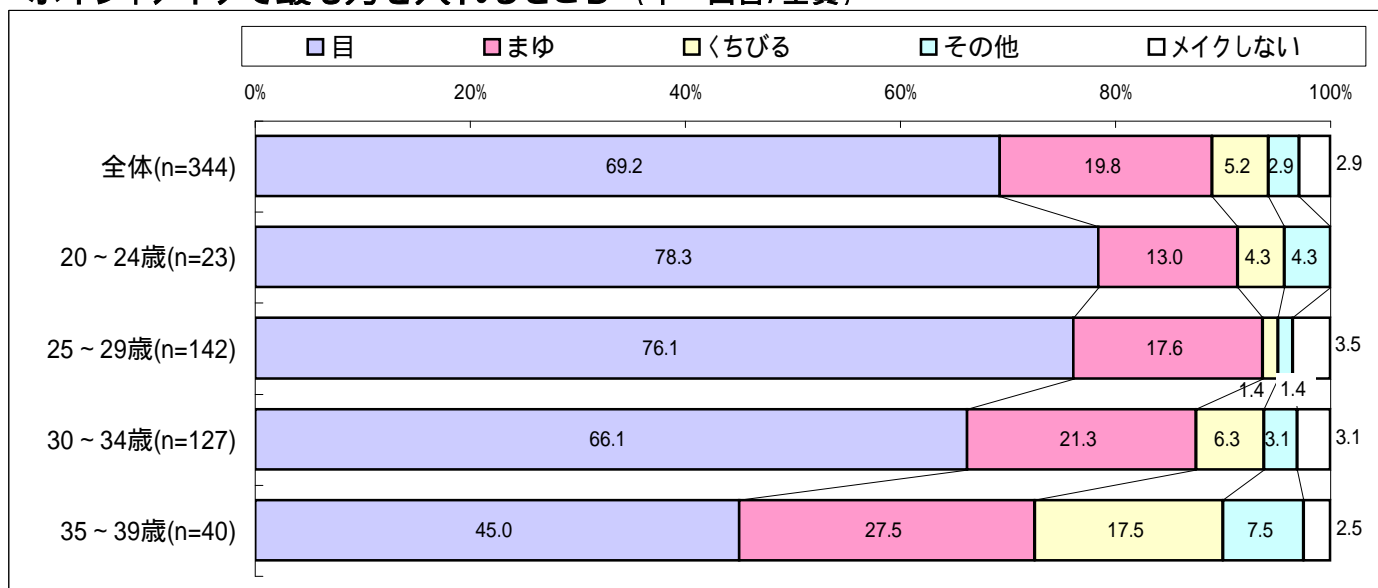
外出前にメイクをする時間の平均は22.3分。1.7%とわずかだが、「メイクしない」という人もいる。20代前半は「20～25分未満」(47.8%)が半数近くを占め、平均は19.5分。化粧品に最もお金をかけている20代後半は、メイクにかかる時間も最も長く、平均は23.9分で、30分以上が38.8%を占めている。30代前半、30代後半と年代が高くなるほど、メイク時間も短くなり、30代後半は平均19.3分と最も短く、「メイクしない」も含めて15分未満が25.0%を占めている。

ポイントメイクで最も力を入れているのはアイメイクで、「目」との回答率は69.2%だった。特に年代が低くなるほどアイメイクに力を入れる層が多く、20代前半では「目」(78.3%)が8割近くを占める。20代後半も「目」(76.1%)との回答は高い。30代以上になると「まゆ」が20%を超え、30代後半では、「まゆ」(27.5%)、「くちびる」(17.5%)の値が最も高い。これは、特にその部分に力を入れているというよりも、特にポイントを置いたメイクをしていないということの表れとも考えられる。

外出前のメイク時間 (数量回答/全員)



ポイントメイクで最も力を入れるところ (単一回答/全員)



エステサロン利用状況

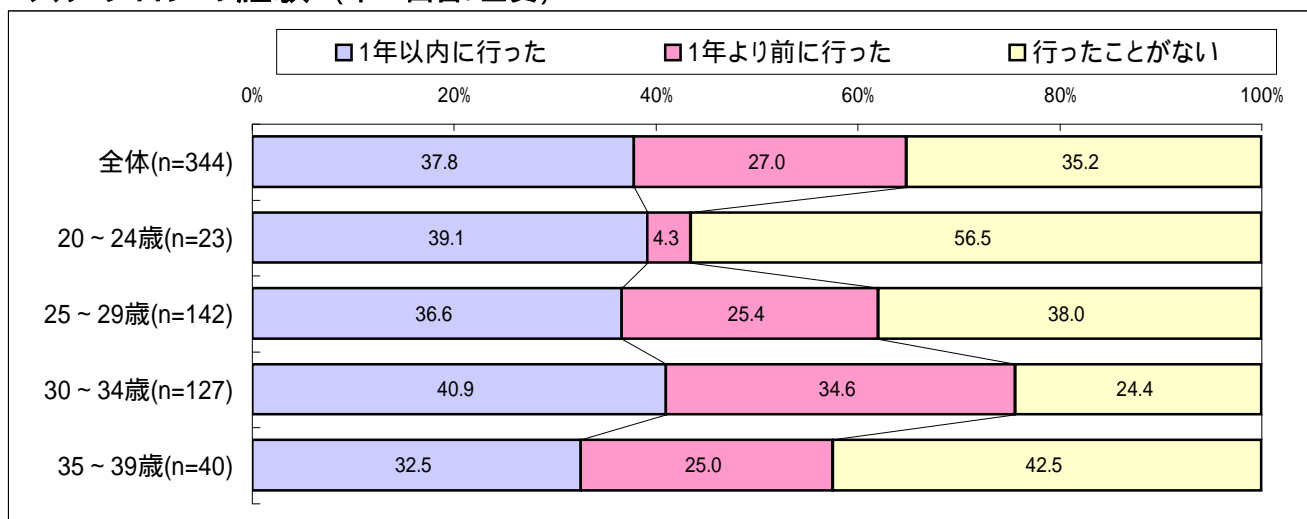
**エステサロン経験者は64.8%。
1年以内に行った人の平均回数は8.4回。**

エステサロンに「1年以内に行った」のは37.8%。「1年より前に行った」を含めたエステサロン経験者は64.8%を占める。経験者が最も高い割合を占めているのは30代前半で75.5%。「1年以内に行った」(40.9%)も、最も高い。

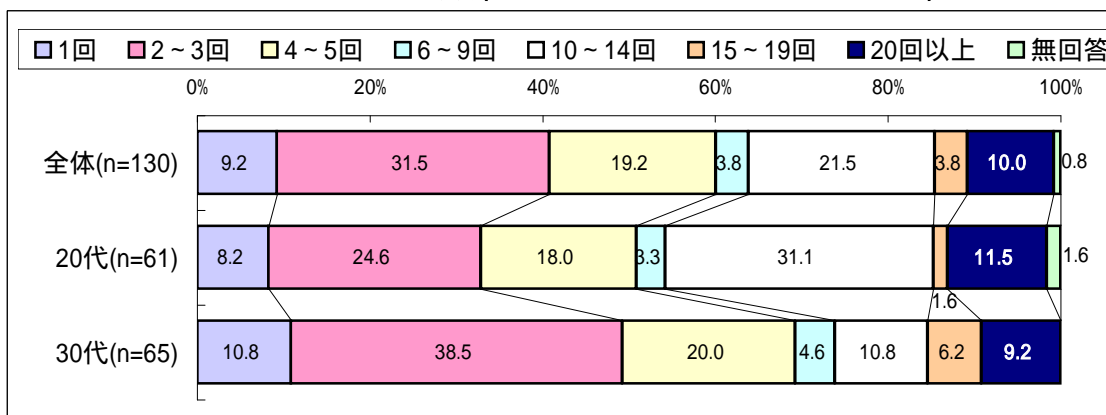
1年以内にエステサロンに行った人に、過去1年間に通った回数を聞いた。平均は8.4回で、30代(6.9回)よりも20代(10.2回)のほうが平均値が高い。30代は「2～3回」(38.5%)が4割近くを占め、3回以下が49.3%で、比較的単発での利用が多いと考えられる。20代は10回、つまり平均して月に約1回以上が44.2%と、定期的に通っているようだ。

1年より前に行った人にも回数を聞いたところ、平均は7.7回。1年以内とは逆に30代(8.7回)のほうが20代(6.3回)よりも平均回数は多い。30代は、10回以上が35.3%を占め、20代は3回以下が45.9%である。

エステサロンの経験 (単一回答/全員)

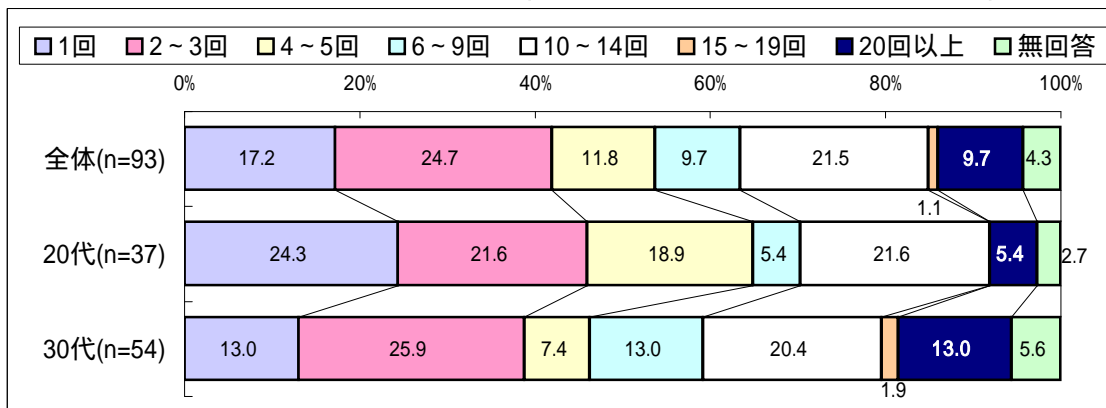


1年以内のエステサロンの回数 (数量回答/1年以内に行った人のみ)



年代	平均時間
全体	8.4回
20代	10.2回
30代	6.9回

1年より前のエステサロンの回数 (数量回答/1年より前に行った人のみ)



年代	平均時間
全体	7.7回
20代	6.3回
30代	8.7回

ネイルサロン利用状況

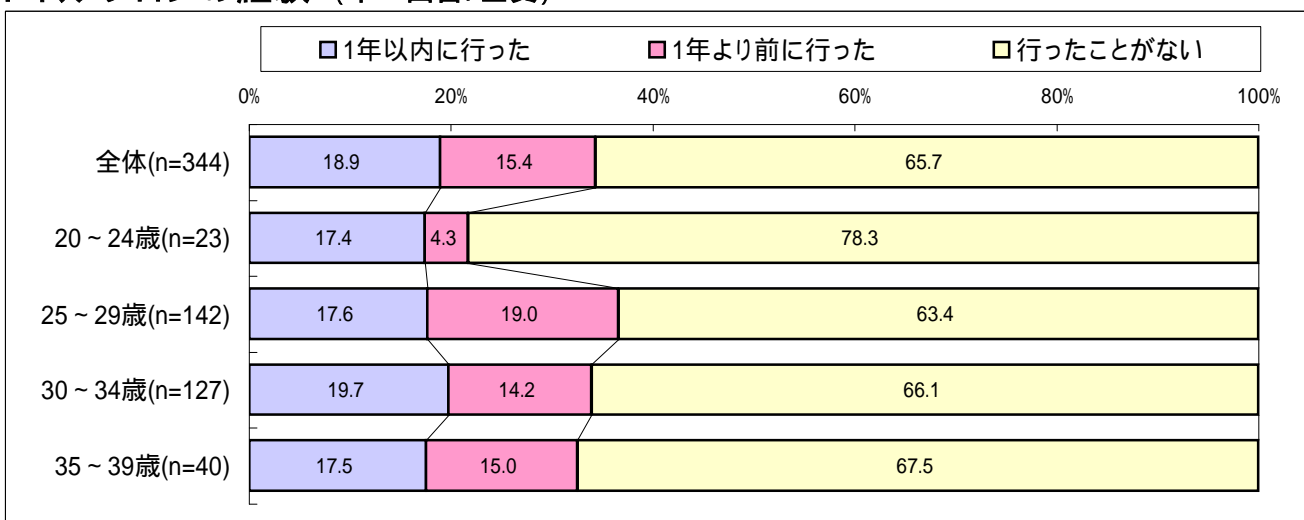
ネイルサロンに行ったことない人は65.7%と、経験者は少ない。
1年以内の平均回数は5.5回。ただし、「1回」が32.3%を占める。

ネイルサロンに「1年以内に行った」人は18.9%。「1年より前に行った」を含めたネイルサロン経験者は34.3%である。未経験者が65.7%を占め、エステサロンと比べてまだまだ一般的とはいえないようだ。年代別で、最も経験者が多いのが20代後半で36.6%。ただし、「1年以内」では30代前半が19.7%と、他の年代よりわずかだが高い。

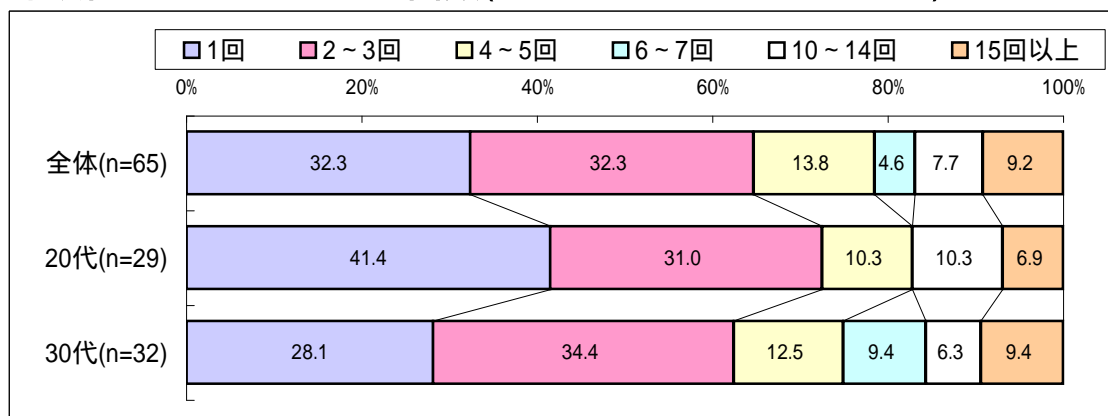
1年以内にネイルサロンに行った人の年間回数は平均は5.5回だが、「1回」(32.3%)、「2~3回」(32.3%)の割合が高く、3回以下が64.6%を占め、経験者でも、回数はそう多くない。年代別では20代が「1回」(41.4%)が高く、平均も4.6回。30代のほうが20代よりも平均回数は5.8回と多い。

1年より前にネイルサロンに行った人の年間平均回数は2.4回。3回以下が77.3%を占め、行った回数は少ない。

ネイルサロンの経験 (単一回答/全員)

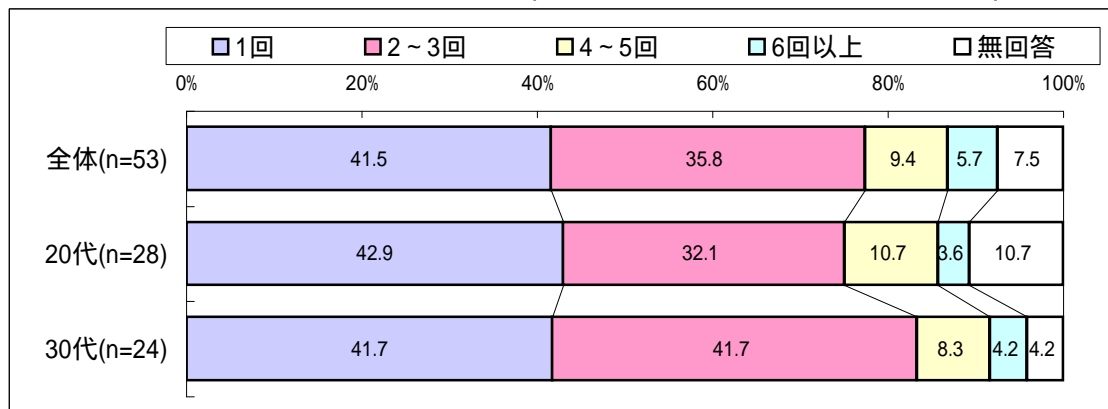


1年以内のネイルサロンの回数 (数量回答/1年以内に行った人のみ)



年代	平均時間
全体	5.5回
20代	4.6回
30代	5.8回

1年より前のネイルサロンの回数 (数量回答/1年より前に行った人のみ)



年代	平均時間
全体	2.4回
20代	2.1回
30代	2.6回

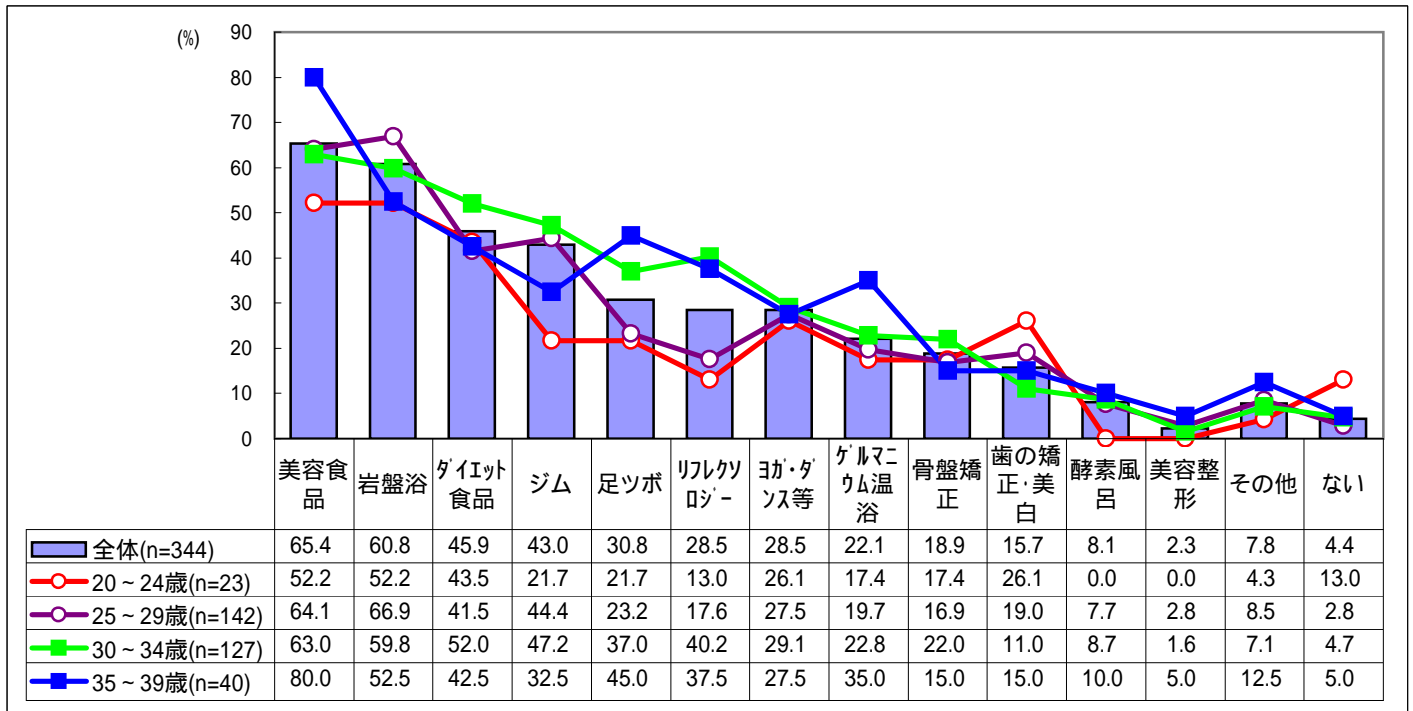
お金を払って、キレイのためにしたこと

美容食品(サプリ)、岩盤浴、ダイエット食品(サプリ)など、手軽なものが人気。

キレイになるためにお金を支払ったことがあるものでは、「美容食品(サプリ)」(65.4%)、「岩盤浴」(60.8%)、「ダイエット食品(サプリ)」(45.9%)、「ジム」(43.0%)、「足ツボ」(30.8%)がベスト4である。最近増えている「岩盤浴」の人気も高いが、手軽なサプリメントの利用者も多い。

20代前半は、ほとんどの項目が他年代より高いが、「歯の矯正・美白」(26.1%)が各年代中で最も高い。若い年代ほど、歯の矯正がより一般的になっているのかもしれない。20代後半で他年代より高いのは、「岩盤浴」(66.9%)。30代前半は「ダイエット食品(サプリ)」(52.0%)の値が比較的高く、30代後半では「美容食品(サプリ)」(80.0%)、「足ツボ」(45.0%)、「ゲルマニウム温浴」(35.0%)など他年代よ比べて高い項目が多い。

キレイになるためにお金を支払ったもの (複数回答/全員)



キレイになるために努力していること (自由回答)

()内は年齢

- 1日3食きっちり取ること。毎日、朝食前、夕食後にストレッチをすること。(26)
- 栄養バランスを考えた食事をし、睡眠を十分とる。あとどんなにしんどくてもメイクをしたまま寝ないこと。(33)
- 健康・美容に良い物を食べる(バランスよく)。よく寝る。日焼けしない。雑誌などで、新しい情報を仕入れる。(34)
- 野菜中心の食事と適度なサプリメントの利用。適度な運動。(34)
- 水を一日2リットル飲む(31)
- 欠かさずサプリを摂取。情報を取り入れる。好きな、憧れのモデル写真を身の周りにおく。等。(37)
- ウォーキングなど毎日出来るだけ動くように心がけています(25)
- 風呂上りにストレッチをして心身ともにスッキリしてから布団に入る(30)
- 適度な運動をする(28)
- どんなに遅くなくても化粧を取って寝る。化粧水などスキンケアをして寝る。(29)
- 基礎化粧品に一番お金かけてます(25)
- 肌を乾燥させない。身体の内面を磨く(食事の栄養管理・人付き合いに手抜きをしない)(30)
- 睡眠をしっかりとること(26)
- 長めの半身浴(24)
- 笑顔を絶やさないこと(27)
- できるだけ外出し、いろんな人と会ったり、話をしたりする。(32)
- 鏡を毎日、何回も見ると。食品が偏らないように気をつける。ストレスをためない。(33)
- 姿勢を正しくする(31)
- 体重キープ(34)